

7月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
06/07/03 (月)	東京は良好な日銀短観もあり円買いでスタートしたが続かず。徐々に円はじり安へ。 欧米は発言や指標により荒れ模様。ただ最終的にはアジアの地政学リスクが嫌気された。	・6月日銀短観大企業製造業DI21 ・5月の米建設支出 0.4%、6月のISM製造業景気指数53.8	・日銀総裁「6月短観は想定範囲内、ゼロ金利解除はまったくのオープン」 ・小泉首相「デフレ脱却に向けてどういふ経済状況がよく見極めて欲しい」 ・北朝鮮「米国から攻撃されれば核抑止力を持って壊滅的攻撃をする」	114.13 114.12 114.95 114.70	145.98 145.93 147.05 146.85	寄付 安値 高値 終値
06/07/04 (火)	東京は人民元の切り上げ思惑などから円が小じり。また加スでは償還にともなう円買いも。 欧米は米国休場で動意乏しいなか引けに掛けて北朝鮮ミサイル発射との報道あり。円全面安の様相に。	・米国独立記念日 ・「北朝鮮が3発のミサイルを発射した」との報道あり、日本海などに着弾のちに発射ミサイルが6発だったと修正される	・中国証券紙「人民元の対ドルでの許容変動幅を拡大することが急務」 ・谷垣財務相「デフレ脱却したと言い切れるところまではきていない」 ・安倍官房長官「重大な問題あり北朝鮮に対して厳重に抗議する」	114.67 114.39 114.83 114.81	146.79 146.52 146.93 146.93	寄付 安値 高値 終値
06/07/05 (水)	東京はミサイル発射報道の余波からドルが高寄りするもその後は冴えず。利食い売りなどに押された。 欧米は欧州早朝に再び北朝鮮がミサイルを発射したとの話に加え米雇用統計改善思惑からドル独歩高。	・豪州が政策金利の据え置き決定 ・5月の米製造業受注0.7%、6月の米ADP全米雇用報告36.8万人増	・北朝鮮が7発目のミサイル発射との報道あり	115.13 114.58 115.79 115.73	147.14 146.58 147.38 147.25	寄付 安値 高値 終値
06/07/06 (木)	東京は利益確定と思いきドル売り優勢。ただ北朝鮮情勢が足枷となりドルの下値も底堅い。 欧米は前日から一転した米雇用統計悪化思惑浮上。一方でユーロ利上げ期待もあり対ユーロでドル軟調。	・5月の景気先行指数75.0 ・アイルランドが政策金利を75BP引上げ ・BOEとECBが金利据え置き決定 ・前日のADP全米雇用報告下方修正の噂(のちに否定される) ・6月の米ISM非製造業指数57.0	・米当局者「北朝鮮が2発目のテロドット2号の発射準備をしている」 ・北朝鮮「今後もミサイル発射を継続」 ・ECB総裁「インフレ動向に対して強い警戒が必要」	115.62 114.90 115.69 115.11	147.16 146.63 147.42 147.11	寄付 安値 高値 終値
06/07/07 (金)	東京は夜半に米雇用統計の発表を控えレンジ内で神経質、積極的な動意に乏しい。 欧米は人民元切り上げ思惑に加え発表された米雇用統計が予想外の悪化、ドルは対円などで急落へ。	・6月の外貨準備高8648.78億ドル ・「中国人民銀行が緊急会議開催予定」の噂、別途「来週人民元が切り上げられる」との噂も ・6月の米失業率4.6%、同非農業者雇用数12.1万人	・韓国国防省「北朝鮮の長距離ミサイル、発射地点に移動した可能性」 ・米政府「ホーソン氏が今月10日、74代財務長官に就任する」	115.27 113.82 115.29 114.03	147.22 145.96 147.28 146.08	寄付 安値 高値 終値
06/07/10 (月)	東京は前週の流れを継ぎドル安でスタート。113.45円の週間安値を一時示現する局面も。 欧米は米財政赤字にともなう噂などもうりやうかしく「優勢」の展開。対円ではドル高値引け。	・6月の中国貿易黒字145億ドル ・5月の機械受注 2.1% ・「米財政赤字が予想以上の改善を示す」との噂 ・5月の米卸売在庫0.8% ・サッカーW杯が伊優勝で終了(9日)	・与謝野金融担当相「ゼロ金利解除を議論するための環境は整ってきた」	113.95 113.45 114.33 114.33	145.97 145.02 145.97 145.54	寄付 安値 高値 終値
06/07/11 (火)	東京はユーロ際の償還などからドル/円は一時円高に振れたが続かず。結局行って来い。 欧米は円、地政学リスクなどが足枷となりドルとも決め手に欠け買い難い。結果ユーロ高。	・インドで爆弾テロ発生 ・カナダが政策金利を据え置き	・米政府が景気拡大にともなう税収増から今年度の財政赤字を2月見直しから大幅下方修正 ・米大統領「減税は赤字縮小を助長した」	114.30 113.93 114.70 114.25	145.58 145.18 145.97 145.94	寄付 安値 高値 終値
06/07/12 (水)	東京はサウジを前にした北朝鮮情勢などをにらみつつ114円前半で揉み合い。 欧米は谷垣発言を受けた円売り殺到し独歩安の様相。ドル/円は一時1円以上も急騰した。	・6月の英実業率3.0%、同失業者増減5900人 ・第1四半期ユーロ圏GDP確報値0.6% ・5月の米貿易赤字 638.4億ドル、対中 177.12億ドル、対日 71.35億ドル	・谷垣財務相「インフレ懸念ないなかでゼロ金利解除は必ずしも急ぐ必要ない」 ・アイルランド中銀総裁「ユーロ圏の物価には依然として上ぶれリスクがある」	114.25 114.18 115.73 115.52	145.83 145.78 146.78 146.77	寄付 安値 高値 終値
06/07/13 (木)	東京は緩やかに円高。早朝に発表された本邦経常黒字増なども円買いの材料になっていたようだ。 欧米は揉み合いで方向性に乏しい。イランや北朝鮮情勢をウォッチする向き多いも新規材料にはならず。	・イスラエルがレバノン領域を封鎖 ・5月の貿易黒字4674億円、同経常黒字1兆6139億円、同鉱工業生産確報 1.3% ・6月の米財政収支204.7億ドル	・英財務相が2人のBOE新政策委員を発表 ・米独首相「イランは核開発を中止すべき、経済制裁の可能性も」 ・仏首相「G8で核開発停止に向けたメッセージをイランへ送るだろう」	115.34 114.99 115.52 115.40	146.48 146.20 146.84 146.44	寄付 安値 高値 終値
06/07/14 (金)	東京は日銀が利上げに動いたものの予想通り。逆に福井発言を失望と捉えられ円売り進む。 欧米は中東情勢悪化思惑などを受けた「有事のドル買い」が復活。116円台の高値圏で越週へ。	・日銀決定会合でゼロ金利解除される。無担保ON金利が0.00 0.25% ・6月の米小売売上高 0.1%、7月のミシガン大消費者信頼感指数速報値83.0、5月の米企業在庫0.8%	・福井日銀総裁「連続利上げは意図していない」 ・小泉首相「デフレはまだ脱却していないが時期は近い」	115.42 115.41 116.39 116.10	146.49 146.43 147.20 146.89	寄付 安値 高値 終値

\* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで